

知りたい!  
学びたい! 郷土の

# 歴史講座

## 忍藩松平家の歴史から江戸時代を検証する

長篠城主・奥平信昌と徳川家康の長女・亀姫を父母とした松平忠明を家祖とする松平家の歴史、歴史上の出来事において松平家が果たしてきた役割、それらを通して江戸時代の検証、教育など、第16代当主 松平忠昌氏自らが講師として3回にわたり講座を開催致します。

全3回  
講座

## 第3回 江戸時代の教育について

明治維新及びそれ以降の日本の近代国家への目覚ましい発展は、江戸時代の教育にあったと云われています。藩校（四書五経、武術等）に於ける武士の教育と私塾、寺子屋（読み書き、算盤）による庶民教育の普及により江戸時代の識字率は諸外国にくらべ圧倒的に高く、今に至っています。また武士道、儒教思想など勤勉な「日本人の心」はどのように培われてきたのでしょうか。藩校などの果たした役割を検証して、現代の教育に活かせるものはなにかを探ります。

日時／平成30年 7月21日(土)

午後1:00 開場

1:30 開始～3:00 (終了予定)

場所／教育文化センター みらい

第1学習室

講師／<sup>まつ だいら ただ まさ</sup>松平忠昌氏 (忍藩松平家第16代当主)

昭和19年生、同42年学習院大学経済学部卒、  
住友商事(株)退職後、自動車部品会社役員等を歴任。  
現在は、公益財団法人 忍郷友会 会長。

参加料／無料 (先着 90名)

### 四書五経とは

四書 「大学」「中庸」「論語」「孟子」

五経 「易経」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」

“経書を読むは 我が心を読むなり”

### 《藩校》

藩校の歴史

会津藩校 「日新館」の教え

薩摩藩校 「造士館」の教え

忍藩校 「進脩館」について

昌平坂学問所…

松下村塾…

「藩校サミット」の紹介